



書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派  
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel & fax 052-241-5231

www.kuonji.net

Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の

# いま不思議ないのちを生きている!



秋も深まり、各地の山々の紅葉の美しさが心を和ませてくれます。けれども今年は、季節の変化をもたらしにくる反面、自然の無常さを感じられずにはおれませんでした。東日本大震災では多くの人々が亡くなられ、国民だけでなく世界中の人々がともに悲しみ、心を痛めました。人間が「これでよし。」と思つて歩んできたことを簡単に打ち砕き、人間の想像力の浅さや傲慢さを露呈したように思えます。タイの洪水、トルコの地震、日本での台風十二号などの自然の驚異は、近代科学によつてあたかも自然を征服していったという錯覚に気付かせてくれたのではないのでしょうか。便利さや速さ、物質の豊かさを求めてきた結果として、人間は本来の空気や太陽や水、大地のお蔭で生かされているという事実を見失つたのだと思います。

最近、想定範囲という言葉が使われていますが、想定内の人間の考えと想定外の事実を想定する智慧を過去の歴史の中に教えられていると思えます。それを軽視することは人間のつながり、自身自身の存在を否定することではないのでしょうか。ですから、被災地の方々の絆の強さ、また前向きな姿勢は祖父母代々の方々の命の考え方や生き方が浸み渡つているのであります。

しかし、この都会では各自バラバラで第二の自然を作り、あたかも幸福のようであります。我が身を省みる時間もなく、ただ経済が生き物の如く人間を支配し、自分の思いや都合でしか生きられず、またつながりもなく、無関心に生きています。その本質は、実は相談する相手もなく、孤独なのではないでしょうか。その孤独な自分は、何の為に生きているのでしょうか。その答えは、何かの為に生きるのではなく、生きていくから生きていく意味を問いつつ続けなければならないと思います。

子供の命名のことを例に挙げますと、両親の願いで名前をつけ、子はその願いの名前に答える責任があると思います。そして、その願いの中に両親の歴史を受け継ぎ、今ここに生きていく場所を問いつつ、ねばならないのであります。互いに助け合いながら、先に往かれた歴史の方々の言葉を聞き、その御恩を報じていかねばなりません。

ここで生涯をかけて、今いる場所へ往生浄土の道を歩まれた福井県のご同行・武部勝之進さんの詩を紹介致します。

「ここわたし」

私は今ここにいる、ここが私の今の場所

ここよりほかに私の場所はない

恥ずかしいけれどここは私の場所だった

ここが恥ずかしいけれど私の場所だ。

ここは明るい、ここが明るい。すばらしく明るい。

マトマ・ガンジーは「こうも言っておられます。

明日死ぬと思つて生きなさい

永遠に生きると思つて学びなさい

人生には絶望なし、いかなる人生にも

決して絶望はない

中村久子

自分の考えが正しいと判断してその思い考え方に絶望して行き詰まっています。一つの道が教えられているのが聞法であります。まさしくそれは、先人の名告りを聞いていくことではないでしょうか。

両手両足を失い、絶望から今生かされていることを喜ばれた中村久子さんの姿が目につかびます。

久遠寺住職 高山元智

合掌

久遠寺住職 高山元智

合掌

久遠寺住職 高山元智

合掌

久遠寺住職 高山元智

合掌

表紙

如來大悲の恩をしり

称名念仏はげむべし

恩を知る」ということは、今ある自分自身が不思議であることに目覚めると同時に、自分と一緒に苦しんで下さった諸仏に感動することでありま

す。称名の「称」とは仏名を称える者と聞くものが一つとなり、私願の名告りでありませす。さらに念仏申してくれ」と救われた仏の証の「べし」であります。

例えば、我々が苦境に立ち親の名を思い出す時は、いつも念じてくれている親の心が、私を通して親の名を呼ばしめることではないではないでしょうか。

故に、南无阿弥陀仏を称える時、南无阿弥陀仏の喚び声がいちの歴史の中で私をそうさせ、励むべしと命令して下さるのでしよう。

一月

摂取の心光

つねに照護したもう

「摂取」とは、逃ぐるものを納め摂るなり」と親鸞聖人が左訓にて解説されました。

現代は人工の光で一晩中明るくすることができず、人間の心の闇 不安・苦しみはなかなか晴れ晴れとはなりません。本当のところ、物事もわかつたつもりで何もわかつていないのが現状であります。

世の中に疑問を持つことで生活の中に一つの光を教えるに出会う瞬間が訪れると思えます。それから疑問・不安が少しずつ明らかになつていくにつれ、人間として生きるという事は、常に温かい願いによつて護られていることに目覚めさせて頂くということに気付くことでしよう。これこそ仏様のはたらき南无阿弥陀仏なのであります。

二月

こおりおおきに

みずおおし

とわりおおきに

徳おおし

氷が大きい程悟りが大きいとは、苦悩すればするほど、実は自分の思いを満足させようとする私の思いであります。

その悩みが行き詰まった時こそ、その苦悩を失わず、一つの転機として本当の私に遇わせ頂くことができるのでしよう。

今生きているこの差し障り多い思いが、清浄なる教えによつて転じて行く場でありませす。



三月

念仏のひとを

摂取して

浄土に

帰せしむるなり

阿弥陀三尊佛とは、阿弥陀如来様を本尊として、その脇に観音菩薩と勢至菩薩がおられることです。観音菩薩は仏様の慈悲の徳を表され、勢至菩薩は智慧の徳を表されています。親鸞聖人は、法然上人を勢至菩薩のはたらきと念じられました。

この法語は法然上人との出遇いによつて、念仏の道に導きを喜ばれた言葉であります。私が念ぜられていた私であり、それは全ての人に通じています。今ここに場所が念仏によつて生きる教えであり、本当の自分に帰る道を示して下さっているのです。ありのままの自分が見えてくることで、感謝と感動を伝えて下さるが念仏なのではないでしょうか。

# 久遠寺の掲示板

人にかける

願いは

よくわかる

かけられている

願いには

なかなか

気付けない



願いは、自分以外に對して希望を持つことです。ですから、自分たちは幸せになるべく願いをもち続けて生活しています。

実はそこには、自意識を満たそうとする願いがほとんどで、その願いの根本は「自分ばかりがいい」とや「自分を頼む心」です。その願いの中では本当の自分を問うてはいませんし、自分自身が主体の考えであります。

一方、かけられている願いは、一生懸命生きている人生には虚しさや不安が伴います。その虚しさや不安を通して自分を喚び覚ませてもらえる真実なる願いの言葉に導くことが、人間を正しい道に導いて下さる本当の純粋な、かけられている願い、なのではないでしょうか。自己反省をお教え下さり、なお安心をくださるのが南無阿彌陀仏であります。合掌



久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に一回ほど更新しております。法語に合わせて当寺住職の味わいをお楽しみ下さい。

田代俊孝

孫の好きな歌にアンパンマンの歌があります。子供の歌と言えども、歌詞を読んでみるととても深い意味を感じるんですね。

## アンパンマンのうた

作詞 やなせたかし

そうだー嬉しいんだ生きる喜び  
たとえ胸の傷が痛んでも  
何の為に生まれて  
何をして生きるのか  
答えられないなんて  
そんなのは嫌だ！  
今を生きていることで熱い心燃える  
だから君は行くんだ微笑んで  
そうだー嬉しいんだ生きる喜び  
たとえ胸の傷が痛んでも  
嗚呼アンパンマン優しい君は  
行けー皆の夢守る為



何が君の幸せ 何をして喜び  
解らないまま終わる  
そんなのは嫌だ！  
忘れないで夢を 零さないで涙  
だから君は飛ぶんだ何処までも  
そうだー恐れないでみんなの為に  
愛と勇気だけが友達さ  
嗚呼アンパンマン優しい君は  
行けー皆の夢守る為

時は早く過ぎる 光る星は消える  
だから君は行くんだ微笑んで  
そうだー嬉しいんだ生きる喜び  
たとえどんな敵が相手でも  
嗚呼アンパンマン優しい君は  
行けー皆の夢守る為

人間の今ここに生きている責任意義を問われているような気がしてなりません。  
久遠寺住職 高山元智

## 長編連載 『心』の響き

久遠寺檀家の一頁さん

三世代の家庭が多く昔の道徳を身につけた爺さん 婆さんが両親の側面から孫の躰けを厳しくしていました。 前述の街灯の伝説で帰宅は多論の事、座敷から土間の上り下りの時に少しでも素足で地面に立とうものならすぐ叱責があったり、敷居の上には立たない、置の縁は踏まない、朝の挨拶、等々躰けられてきました。最近の家屋は個性を重なるばかりに、個室を作り、親の目の届きにくい生活様式で尚且つ鍵まで装着していると聞くに及んでは、何をか言はんやです。一つ屋根の下で暮らす者がなせ、必要以上に隔離せねばと思いう現在、共生を叫ばれ支え合いを訴えている時、一番濃密な家族・肉親がこんな状態ではと憂えを覚えます。

家族こそ願望の極致ではないでしょうか。とは申す私も息子の家族とは、今の所、遠隔地の関係で年に数回しか逢うことができませんが来名の時には、仏壇の前に座らせ、先祖を崇めさせ、人の道の話から先祖の歴史の話等々、日頃の空白の時間を埋めるよう、スキミングに励みます。その他、孫とは心の懸け橋と銘打って常日頃メールの交換も致します。次回へ続く

報恩講をお勤めました！



当口は、雨にも  
かかわらず、椅子  
席が埋まるほど  
のご来寺頂けま  
した。  
お手伝いの方  
や参詣の方々の  
お蔭で無事報恩  
講をお勤めする  
事ができました。  
有難う御座いま  
した。

仏教クイズ

あなたはいくつ答えられる？

- 1、仏花としてふさわしく  
ないのはどのお花？  
①トゲや毒がある花  
②庭花 ③造花  
④花びらが散る花
- 2、蝋燭で最も好ましいとい  
われるものはどれ？  
①洋蝋燭 ②和蝋燭  
③絵入蝋燭 ④残蝋燭

3、お鈴はいくつ叩く？

- ①お参りする時
- ②読経の始めと終わり
- ③子供が遊ぶ時

答えは、このページの左下！

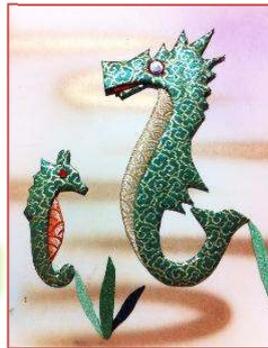


加藤裕さん



矢島昭夫さん

来年は  
「辰」年!!  
いつも  
有難う  
御座います!



大橋和子さん



吉井直子さん

編集後記

来春、高田本山専修寺にて  
開山聖人750回遠忌大法  
会にお勤められます。久遠寺  
も大型バスを一台貸切り、  
皆様と一緒に参りした  
く存じます。

☆口時☆  
平成24年4月11日(水)  
早朝出発、夕方解散

の予定であります。50年一  
度の「遠忌のご縁を頂戴し  
たく思います。是非皆様の  
参加を心待ちにしております。  
ご案内は後日改めて送付  
いたしますので宜しくお願  
い申し上げます。

尽きまして、「ご遠忌の  
際にご自分で結ばれたお念  
珠でお参りしませんか？  
お念珠を結ぶ会」企画とし  
て、後日「ご案内差し上げま  
す。是非素敵なお念珠を結  
んでお参り致しますよう。ご  
加を心よりお待ちしております。  
南无阿弥陀仏

久遠寺衆徒 高山信雄



見本(右:男性念珠、左:女性念珠)

- ◎ 久遠寺HP & blogも随時更新中です。是非お時間のある時にご覧ください。
- ◎ 寺報記事も随時募集中です。ご協力お願い致します。
- ◎ お経本・お念珠は大切なものです。床に直接置かないように気を付けましょう。

今後の予定

12月20日(火)  
午後1:30~  
真宗入門法話会⑬  
和讃のこころ  
〜竜樹菩薩〜

1月10日(火)  
午前9:00~  
修正会(お正月)  
墓参り  
☆皆様の御参詣を心より  
お待ちしております。

平成24年1月  
午後1:30~  
真宗入門法話会⑭  
和讃のこころ  
〜副題未定〜

2月14~16日(火)  
10時、13時、15時  
報恩講  
16日13時半  
御門主様御親教  
専修寺名古屋別院

3月16日(金)  
午後1:30~  
念珠を結ぶ会  
お参りはご自身で結んだ  
お念珠でしませんか？  
久遠寺歓喜館

是非皆様お揃いで御参詣ください。